(第1面)

# 事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒102-8455

住 所 東京都千代田区二番町8番地8

氏名株式会社セブン-イレブン・ジャパン代表取締役社長永松文彦印

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

7/// LI	2 日 U 。 / V/		により、いい	77 C 40 7 IV	ещ Съ 10			
事 又	業者の氏 は名	名称	株式会社	セブンー~	イレブン・ジャル	ペン		
主 た 事 き	こる事務所又 業所の所在	. は 地	川崎市	川崎市川	崎区駅前本町 1	番地3(セブン	ーイレブン川	崎駅東口店)
			□ 規則第	4条第1号	号該当事業者			
			☑ 規則第	4条第2号	号該当事業者			
該)の	当する事業 要	者件	□ 規則第	4条第3号	号該当事業者			
			□ 規則第	□ 規則第4条第4号該当事業者				
			□ 上記以	外の事業者	<b>省(任意提出事</b> )	<b></b> (孝者)		
主	たる事	業	大分類	I 卸	売業,小売業			
0	業	種	中分類	58 飲	食料品小売業			
主の	た る 事 内	業容	フランチャ	イズ方式に	こよるコンビニニ	ニンスストア「・	セブン‐イレ゛	ブン」の展開
			☑ 原油換	算エネルキ	ギー使用量	8, 4	19	k l
事	業者の規	模	□ 自動車	の台数				台
					原の二酸化炭素 ガスの排出の			t -CO <sub>2</sub>
			担当部署	担当	部 署 名			
			担当即省	所	在地			
連	絡	先		電話番号				
			-	FAX番号	1.			
			メ	ールアドレ	/ス			
				<u> </u>	W			
\•/					※事業者番号			
<b>※</b> 受				特				
付				記書				
付欄				記     事     項				

計	画	期	間	2022	年度	~	2024	年度	
	効果ガス <i>0</i> を図るため			添 指針様式	第 1 号のとま	s 9			
	効果ガス <i>0</i> こ向けた組		量の別	添 指針様式	第1号のとお	3 4			
削減	効果ガス <i>の</i> 目標及び温 出の量			添 指針様式	第1号のとお	3 4			
削減	効果ガス <i>0</i> 目標を達成 D内容に係	はするた≀		添 指針様式	第1号のとま	s 9			
出の打	者の温室郊 抑制等に名 3事項			添 指針様式	第1号のとお	s 9			
	也地球温暖の貢献に係		の推別	添 指針様式	:第1号のとお	s 9			
	備	考	下	記ホームペー	球温暖化対策 ·ジにて公表し co.jp/corp/so	ていま	組みについては、 す。		

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

  - 4 ※印の欄は記入しないでください。 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

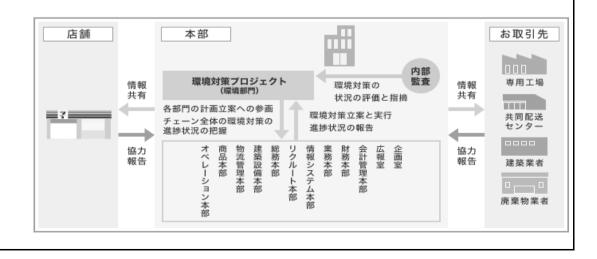
- 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針
- (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針
  - ●セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』において、「脱炭素社会」を目指すべき社会の姿として掲げ、店舗運営に伴うCO₂排出量を2013年度対比で2030年までに▲50%、2050年度までに実質ゼロを目標に、省エネ、再生可能エネルギーの利用拡大を進めていく。
  - ●新店、改装店、既存店への省エネ設備の導入、加盟店における省エネの取組促進により、店舗の電気使用量を削減し、CO2排出量総量の削減に努めていく。

令和3年度も引き続き、上記2点を基本として、加盟店と本部の役割分担による省エネを行う。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理(PDCAサイクル)を行うための方針

温室効果ガス削減として、主として下記項目を実行する。 店舗の省エネ行為の徹底

- ・川崎市内店舗排出量削減計画に基づき、省エネおよび排出量削減の目標設定を行い、年度計画を算定する。店舗においては、省エネ設備への更新及び加盟店への省エネ重点対策6項目の浸透を図っていく。 太陽光発電設置店舗数の増大
- ・月単位の太陽光設置店舗目標数を数値化し、実施状況を毎月確認する。
- ・目標値と実績値の差異の理由を検証し、あらたな対策を講じ、PDCAサイクルを強力に推進する。
- 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制
  - ●セブン-イレブンは、当社の事業にかかわる環境負荷を低減するために、1991年に各部門を横断する「環境対策プロジェクト」を発足。その後、サプライチェーン全体での取組を進めていくために、2011年に「環境対策プロジェクト」を改称して、「環境部会」を発足させた。同部会は、2013年からIS014001に基づく環境マネジメントシステムの中心的な役割を担うようになった。環境部会は、各部門の環境対策の進捗状況を確認し、課題を明らかにして、継続的な改善に向けて取組を実施している。
  - ●コンビニエンスストア事業と地球環境保全の調和をめざし、本部と全国の事務所、直営店を対象に、2014年から国際規格の環境マネジメントシステムIS014001認証を取得。この環境マネジメントシステムIS014001を運用することで、環境に対する様々な取組を進めている。各部門の取組として、IS0担当者が最新の環境知識の習得や技術の導入検討を進めるため、独自のテキストを使ったSDGsに関する情報発信や、環境イベントへの参加を促す等、各部門が効果的な活動を考え取組を行っている。今後も環境マネジメントシステムIS014001の運用を継続して、地球環境に配慮した事業運営に努めて参ります。



- 3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等
- (1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

						1,	2、4号	<b>号該当者等</b>	is F		3号該当者等	
基	準		年	度					2021			年度
目	標		年	度					2024			年度
#	<b>淮</b>	414	111	₽.	(実)			15, 041		(実)		
基	準	排	出	量	(調)			14, 841	t-CO <sub>2</sub>	(調)		$t\mathrm{CO}_2$
	4786	414	111	₽.	(実)			14, 590		(実)		
目	標	排	出	量	(調)			14, 396	t-CO <sub>2</sub>	(調)		t-CO <sub>2</sub>
削		減		量	(実)			451	t-CO <sub>2</sub>	(実)		t-CO <sub>2</sub>
	対策実施	によ	る削減	量	(実)			451	t-CO <sub>2</sub>	(実)		t-CO <sub>2</sub>
訳	上記以外	の削	減量		(実)			0	t-CO <sub>2</sub>	(実)		t-CO <sub>2</sub>
削		減		率	(実)			3. 0	%	(実)		%

#### イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等(任意記載)

						1、2、4号該当者等	3 号該当者等
原	単 位	等	の	活動	量	延床面積	
原	単	位	の	単	位	t-CO2/m2	
基	準	年	度	の	値	0. 3169	
目	標	年	度	の	値	0. 3074	
削		涯	戓		率	3.0 %	%

#### ウ 目標設定に関する説明

- ●セブン&アイグループは、全国の店舗ネットワークとサプライチェーン全体でさらなる環境負荷軽減 を推進していくべく、環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」を策定している。
- ●環境宣言の1つのテーマとして「CO₂削減量削減」を掲げており、2013年度対比で、2030年はCO₂排出量50%削減、2050年には実質ゼロを目標としている。グループの目標は排出量ベースで設定しているため、川崎市の目標も、次年度から排出量ベースに変更する。
- (2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標(全社目標) (任意記載)

CO₂排出量総量に関しては、毎年1%の削減を目標とする。3年間	で3%	%の削減を目	1標とする	る。
---------------------------------	-----	--------	-------	----

- 4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項
- (1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

プ 計画期前に	<ul> <li>実施する措直の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)</li> <li>●本部 ・創エネ対応 新店への太陽光パネル設置促進、大容量化の検討 ・省エネ対応 新店への省エネ設備の設置及び既存店に対し設備更新計画に基づいた省エネ設備への更新 ・省エネ教育 省エネ本重点対策6項目を纏めた動画を店舗へ配信</li> <li>●加盟店 ・省エネ対応 省エネす応 省エネオ応 省エネオ応 省エネオ応 省エネーニー・省エネ活動の実施</li> </ul>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
	3ける取組の評価 )報告時に記載)

- 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容
- ・IS014001に基づいた環境マネジメント体制の継続的運用
- ・店舗への省エネ重点6項目を纏めた動画の配信
- ・省エネ設備の導入・入替(2021年度実施内容) IHフライヤーへの入替 実施店舗:27店 LED照明の入替・導入 実施店舗:21店 老朽化空調の更新 実施店舗: 3店 実施店舗: 65店 冷蔵設備の更新
  - ※冷蔵設備に関しては従来の冷蔵設備に比べ地球温暖化係数が小さいR448冷媒を採用した。
- ・太陽光発電を設置し002排出量を削減。2022年3月末時点で73店舗に設置。
- ・下記2店舗において、2019年9月下旬から実証実験を開始し、継続している。 対象店舗:「川崎西下橋店」「川崎梶ケ谷3丁目店」

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況 (検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

戦してくたです。)		
再生可能エネルギー源 等 の 種 類	検討の 有 無	検 討 結 果
太陽光	0	太陽光設置可能店舗へ太陽光発電設備を設置していく
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の 価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電設備	太陽光を設置可能店舗に設置(2021年3月末時点で73店舗) 2021年度発電量:502881kWh/年	2021年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況 (導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	Δ	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他(    )	
EV、PHV、FCV	×	その他(	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

	KW MANDER AND THE TOTAL OF THE COMMON AND THE COMMO
計画	○商品配送に伴う環境負荷の低減 ・配送車輌に環境配慮型車輌を導入
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計画	動
第1年度	
第2年度	
第3年度	

- 7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績(1、2号該当者等)
- (1) 事業者単位
  - ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	15, 041	+_CO
(調)	-	t-CO <sub>2</sub>

イ 原油換算エネルギー使用量

8, 419	ΚL

ウ 事業所の数

			265

### (2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
セブン-イレブン川崎駅東口店(他、265店)	神奈川県川崎市川崎区駅前本町1番地3	15, 041 t-CO <sub>2</sub>
		$tCO_2$
		$t\text{-}CO_2$
		$t\text{-}CO_2$

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>